

# やまぐち産業脱炭素化戦略

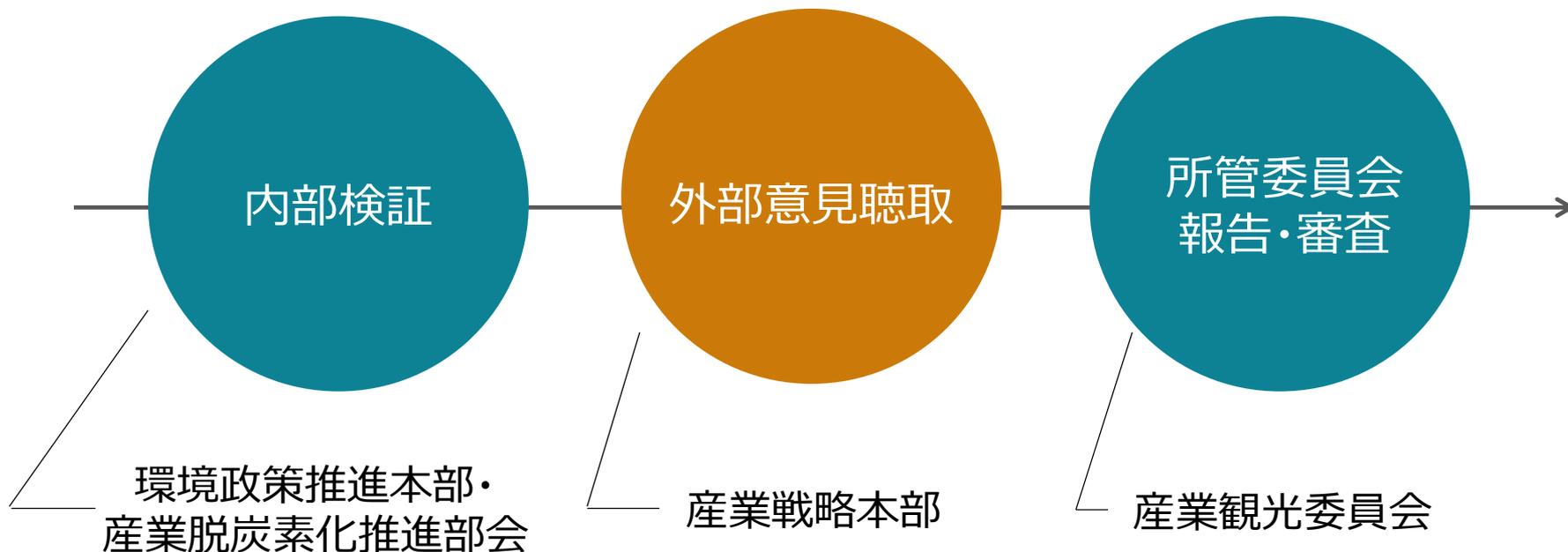
## 進捗状況2023年度【通年版】



2024(令和6)年9月18日  
令和6年度 山口県産業戦略本部 第1回全体会合

# やまぐち産業脱炭素化戦略の進行管理

- 各施策に基づく取組状況は、毎年度、点検・検証を実施
- 本戦略に掲げる先行プロジェクトやK P I は、2030(令和12)年度を当面の区切りとしていることから、K P I の達成状況の評価は、中間評価として2026(令和8)年度分と、期末評価として2030(令和12)年度分で実施
- 「内部検証」、「外部意見聴取」及び「所管委員会報告・審査」で構成



# 進捗状況2023の概要



## 主な実績

2023(令和5)年4月1日から2024(令和6)年3月31日までの主な実績を17の主な施策の柱毎に抽出して記載

※今年度の進捗も補記  
(8月末まで)



## KPI

主として2023年度(累積値の場合は2023年度まで)の実績値を記載



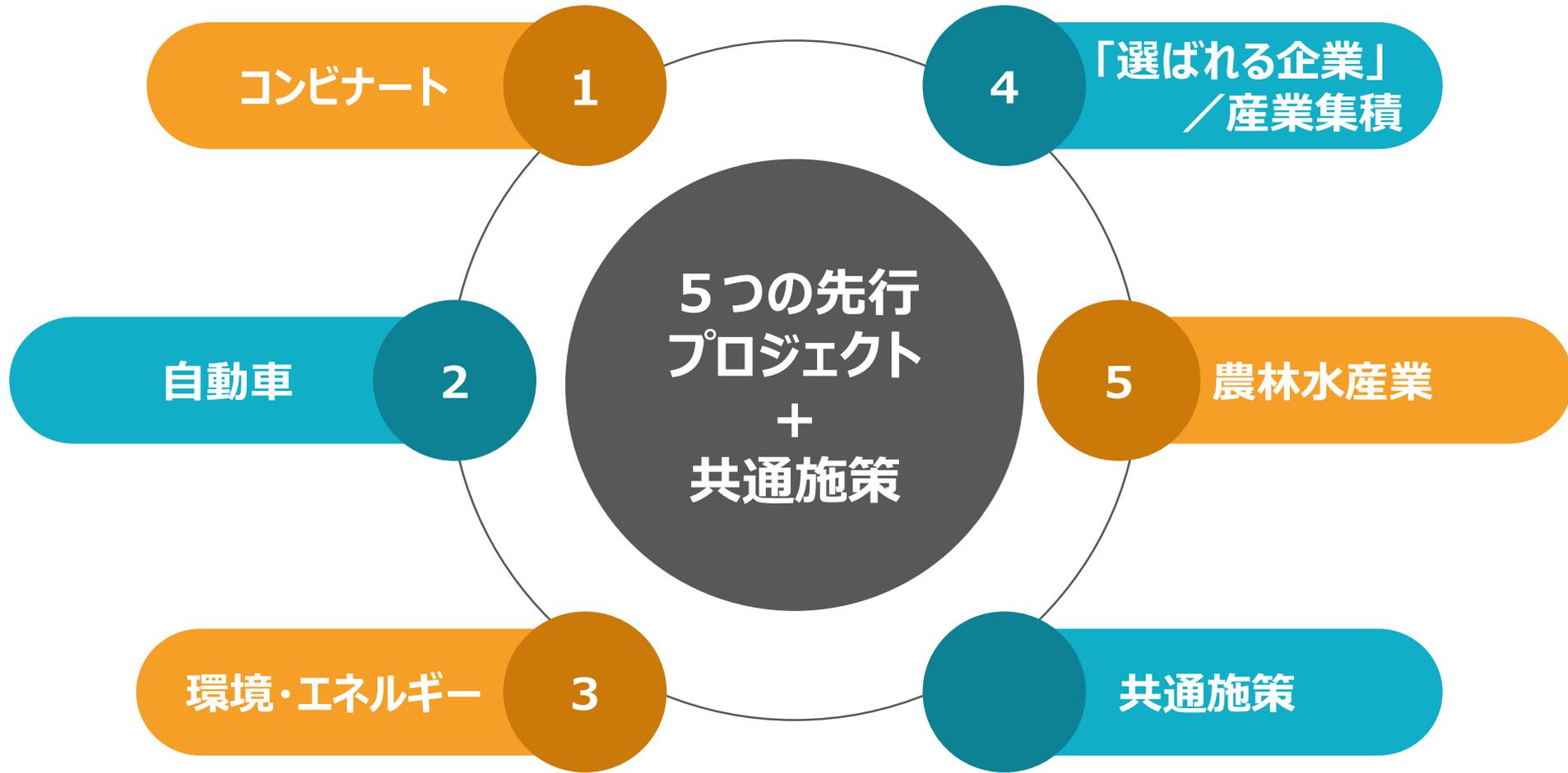
## 参考指標

【環境面の参考指標】  
2020(令和2)年度のCO<sub>2</sub>排出量を記載

【経済面の参考指標】  
2021(令和3)年度の県内総生産(名目)等を記載

※CO<sub>2</sub>排出量と経済状況の関係

# 戦略の体系



# 主な実績

## 1 脱炭素社会の産業拠点となるカーボンニュートラルコンビナートの実現

- ① 燃料転換等によるコンビナートのCO<sub>2</sub>排出削減
- ② 次世代燃料（水素、アンモニア等）・素材の供給基地化

### ● 地域連携体制の構築・活性化、連携事業への経済的支援

#### ▽ 岩国・大竹地域

- ・都市ガスのパイプライン検討に向けた二十日会臨時分科会は終了（大竹地域のパイプライン敷設に向け、継続検討）

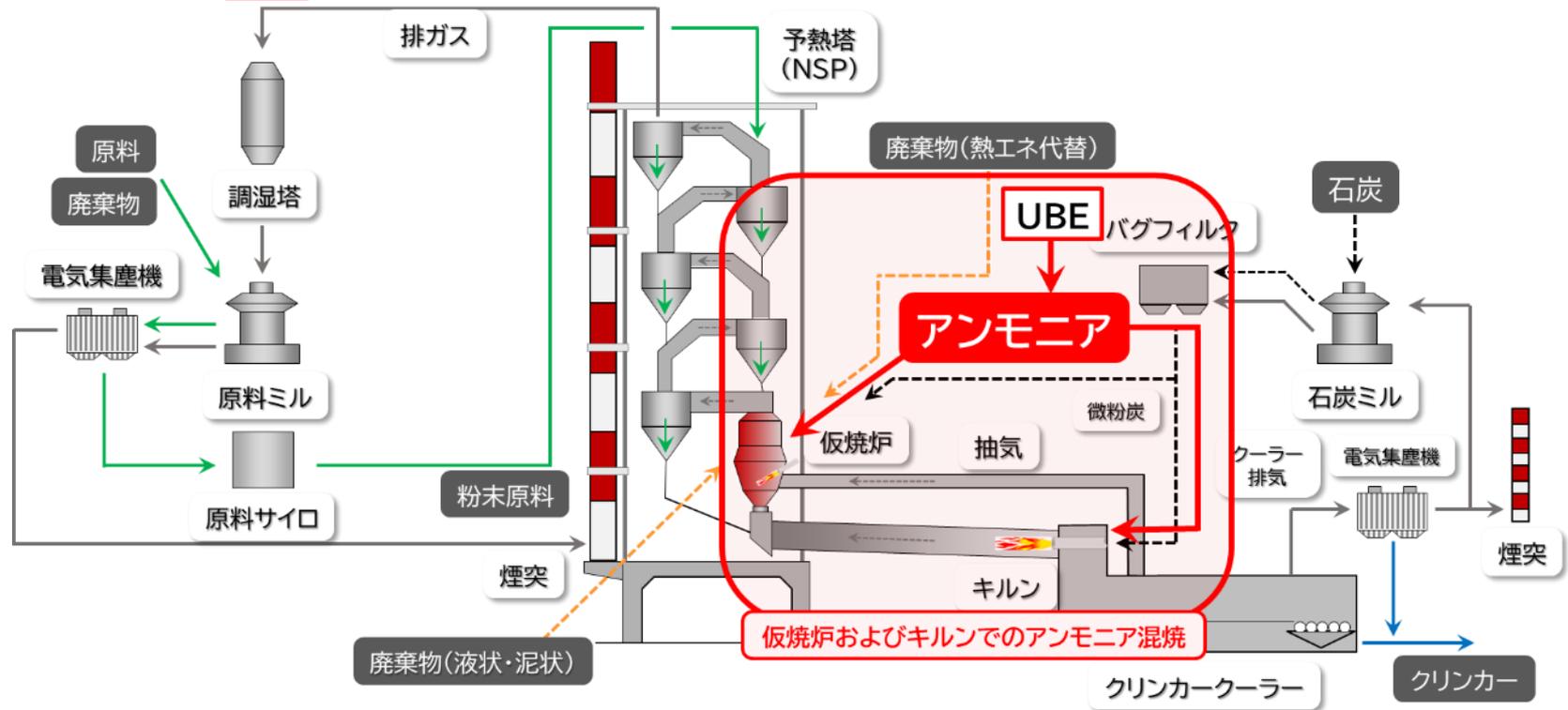
#### ▽ 周南地域

- ・知事がアンモニアサプライチェーン(SC)構築事業の関係企業と意見交換(8/17)
- ・トクヤマ、日本ゼオン、出光興産、東ソー及び日鉄ステンレス等が行う「産業間連携カーボンリサイクル事業の実装に向けた調査」がNEDOの委託事業に採択(3/11)

#### ▽ 宇部・山陽小野田地域

- ・地域コンビナート企業連携検討会議のキックオフ会議を開催(8/25)
- ・UBE三菱セメント及びUBEによる「セメント製造におけるアンモニア混焼の実証」を補助事業に採択

実証範囲：



### 【採択案件の概要】

- ・セメント製造プロセスのCO<sub>2</sub>排出削減に向け、セメントキルン（焼成炉）及び仮焼炉における熱エネルギー源にアンモニアを使用する燃焼試験
- ・2023～2025年度までの3年間の実証で、熱量比30%の混焼率を目指す。
- ・本実証により、混焼率の拡大、商業運転ベースにおけるエネルギー転換に関わる課題抽出と対応策を具現化

- ・県立会の下、山陽小野田市、西部石油、出光興産が包括連携協定を締結(1/22)
- ・西部石油山口製油所新規事業構想の発表(1/22)



## ●連携事業のコーディネート

▽山口県コンビナート連携会議の開催(9/1)

▽カーボンニュートラルに係る企業動向調査の実施(11/14～12/15)

▽知事が水素・アンモニアの供給者となるENEOS及び出光興産の本社を訪問し、意見交換を実施(2/2)

## ●規制関連のサポート

▽政府要望活動（春・秋）において規制緩和の項目（独占禁止法等）を要望

### ③ カーボンニュートラルポート（CNP）の形成推進

#### ● 港湾脱炭素化推進計画の策定

- ▽ **周南地域**（徳山下松港港湾脱炭素化推進協議会の設置は令和4年度末）
  - ・企業ヒアリングの実施(6～7月)
  - ・計画（案）の取りまとめに向け、4回の協議会で議論を深化
  - ・計画策定・公表(3/26)



徳山下松港港湾脱炭素化推進協議会

- ▽ **宇部・山陽小野田地域**
  - ・宇部港港湾脱炭素化推進協議会及び小野田港港湾脱炭素化推進協議会を設置(3/28)



### ■ 岩国・大竹地域

- ・2030年以降の中長期的な視点での検討に向け、当該地域の企業の持つポテンシャルを踏まえ、水素の利活用やカーボンリサイクル事業の創出に向けた提案等を実施中

### ■ 周南地域

- ・カーボンリサイクル関連調査事業の検討委員会に参加し、情報を共有
- ・アンモニアS C構築事業のパイプライン及び燃焼設備の整備に関するF S事業が、経済産業省の補助事業に採択(5/31)
- ・アンモニアS C構築事業に関し、航海安全や海上防災の観点から協議を実施中

### ■ 宇部・山陽小野田地域

- ・地域会議を開催(8/21)。連携事業の検討を加速するため、ランドデザインの策定や個別課題の検討を行うワーキンググループを設置

### ■ 経済的支援

- ・「カーボンニュートラルコンビナート構築促進補助金」の公募を実施⇒採択案件なし

### ■ カーボンニュートラルポート

- ・宇部港、小野田港の港湾脱炭素化推進計画の策定に向け、関係者での協議を実施中

## 9月以降の取組

- コンビナート連携会議(9/4開催)を中心に、連携事業の構築を促進
- アンモニアSCに関し、国の大規模な支援の獲得に向け、関係企業をバックアップ

# 主な実績

## 2

## 電動化等に対応した自動車関連産業の持続的な発展

- ④ 電動化シフトに向けた業態転換や新事業展開の促進
- ⑤ 自動車のライフサイクル全体での低炭素化の促進

### ● 地場サプライヤー等の業態転換支援

- ▽ 電気自動車の部品展示や解説、専門家との意見交換を行う「電動車関連部品展示説明会」を開催（8/9～10）  
※33団体、171名が参加
- ▽ 「やまぐち自動車産業電動化イノベーション等促進補助金」の採択【1件】



電動車関連部品展示説明会

#### 【採択案件の概要】

- ・申請者 : (株)トクヤマ
- ・事業の名称 : 自動車電動化に資する放熱材料の事業化
- ・事業の概要 : 自動車の電動化における課題である車載半導体の発熱による電子部品の熱暴走を防ぐための高放熱材料の開発。開発品の量産化を検討し、事業化を進める。

## ●電動化に対応した新技術・新製品の創出支援

▽電動化対応関連事業アドバイザーを配置し、個別テーマを設定した「電動化関連技術研究会」を開催

(第1回「e-Axle」：9/8、第2回「小型EV」：10/12、第3回「インホイールモーター」：11/24)

※研究会開催後も、アドバイザーによる個別面談等の伴走支援を随時実施



アドバイザー

名古屋大学（未来技術・システム研究所）教授 山本 真義氏

山口大学大学院理工学研究科にて博士号取得後、島根大学准教授を経て、現職。EV分解研究の第一人者。宇部市出身

▽自動車専門コーディネータによるマッチング等支援

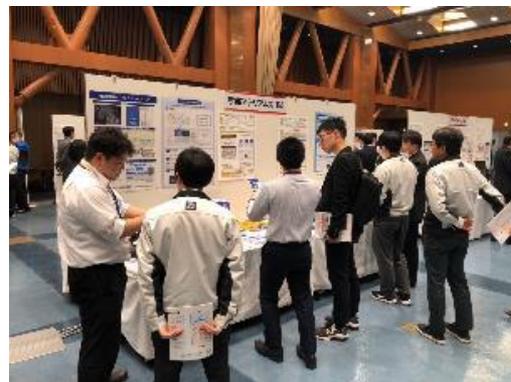
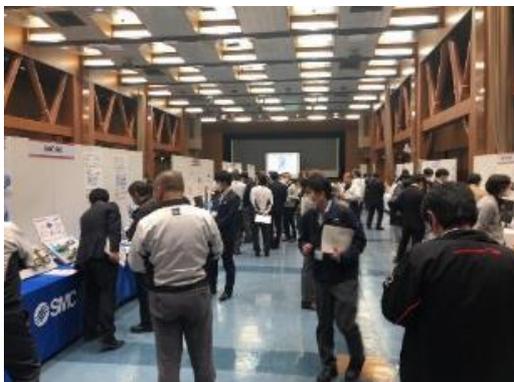
・産業技術センターに配置したコーディネータが、企業訪問等によるマッチングを随時実施

▽マツダと連携したニーズ発信会及び展示商談会の開催

- ・ニーズ発信会(10/4 オンライン開催)
- ・「山口県技術紹介・展示説明会」を開催(2/1 於：マツダ本社)  
※18団体の43技術・製品を出展、60社・約400人が来場

▽「九州自動車・二輪車産業振興会議」主催の展示商談会等への参画

- ・「九州自動車関連技術展示商談会」(2/5、6 於：刈谷市産業振興センター)  
※3団体が参加



山口県技術紹介・展示説明会

●自動車関連企業への低炭素化の普及啓発

- ▽低炭素化の必要性や実施手法の普及啓発に向け、「中小企業向け脱炭素経営セミナー（自動車関連産業）」を開催（9/5）

### ■ 電動化

- ・「やまぐち自動車産業電動化イノベーション等促進補助金」の公募を実施（低炭素化の枠と同時実施）  
⇒一次公募では応募なし⇒二次公募を実施(公募期間：8/9～9/13)

### ■ 低炭素化

- ・生産性向上に向けた人材育成セミナー（経営層編）を開催(第1回：7/29)  
※内容：トヨタ生産方式（カイゼン）による総合的品質管理等

### ■ その他

- ・マツダの下請企業（ティア1）を中心に、個別訪問による情報交換を実施
- ・「山口県自動車産業イノベーション推進会議」の活性化に向け随時入会案内を実施  
⇒4月以降、5社が入会（112企業・団体から117企業・団体へ）

### 9月以降の取組

- 「電動車関連部品展示説明会」、「電動化関連技術研究会」の開催
- 人材育成セミナー（管理者編）の開催

# 主な実績

## 3 クリーンエネルギー供給拡大に資する環境・エネルギー関連産業の振興

### ⑥ 発電事業等の脱炭素化の促進

#### ● 地域と共生した再エネの導入に向けた環境整備の促進

▽政府要望（春・秋）において、「再生可能エネルギーの導入拡大に向けた地域との共生を促す環境整備」について要望

#### 【国の対応状況】

○令和6年度当初予算として、以下の事業が要求

#### 【経済産業省】

- ・洋上風力発電の導入促進に向けた採算性分析のための基礎調査事業【65億円（36億円）】
- ・地域共生再生可能エネルギー発電設備導入実態調査事業【2.7億円（新規）】

#### 【環境省】

- ・環境保全と利用の最適化による地域共生型再エネ導入加速化検討事業【7億円（新規）】

○令和5年4月に経済産業省及び環境省により設置された「再生可能エネルギー発電設備の廃棄・リサイクルのあり方に関する検討会」において、太陽光発電設備や風力発電設備等の再生可能エネルギー発電設備の廃棄・リサイクルに関する対応の強化に向けた具体的な方策について検討されている。

## ⑦ 省・創・蓄エネ関連産業のイノベーション創出等（設備・住宅・建築物、蓄電池等）

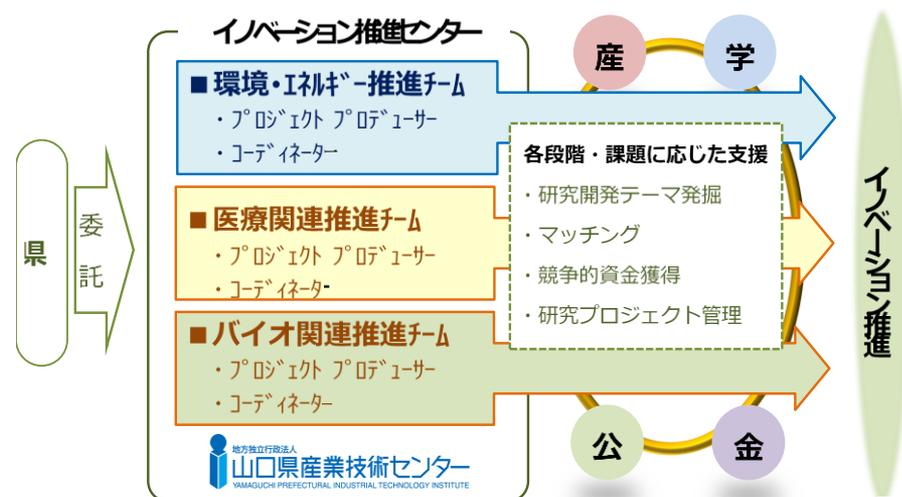
### ●環境・エネルギー関連産業イノベーションの創出

▽「やまぐち産業イノベーション促進補助金（チャレンジ枠・環エネ分野）」の新規採択【4件】

#### 【採択案件の概要】

- ・EMSデータ収集システムの開発
- ・液膜技術を用いた酸素供給装置の開発
- ・アルカリ水電解装置向け耐食性めっき技術の開発
- ・半導体製造におけるエネルギーロス低減、環境負荷低減に資するステンレス高耐食性表面処理技術の開発

▽県産業技術センターに「イノベーション推進センター」を設置し、マッチングや研究開発プロジェクト等を支援



## ▽「中小企業脱炭素化促進支援補助金（売込支援型）」の採択【6件】

### 【採択案件の概要】

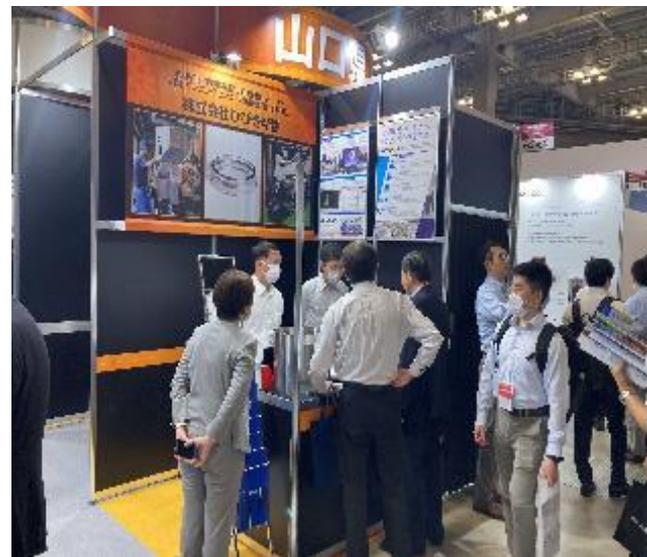
- ・風力発電関連モーター等
- ・省エネ R & D 用乾燥装置等
- ・省エネ・高効率冷蔵庫
- ・CO<sub>2</sub>削減に寄与するエア漏れ検知サービス等
- ・再エネ利用の「ため池」管理等
- ・ごみ収集の効率化を可能にするシステム

※採択された企業は、コーディネータの伴走支援を受けながら、展示会への個別出展を実施

## ▽脱炭素関連製品展示会等支援

- ・脱炭素関連製品等を有する企業を取りまとめて、山口県ブースとして展示会に出展

展示会	参加企業
第28回機械要素技術展 (6/21~23)	6社
H2&FC EXPO (9/13~15)	4社
2023国際ロボット展 (11/29~12/2)	3社
第4回フードテックジャパン (12/6~8)	6社



機械要素技術展

## ●地域中核企業等と県内大手企業とのマッチング機会提供

- ▽県産業技術センターにおいて、「やまぐち次世代産業推進ネットワーク」の環境・エネルギー分野を担う「環境・エネルギー研究会」（会員数：約70社・機関）を設置・運営
- ▽環境エネルギー研究会、やまぐちR & Dラボ合同セミナーの開催(7/13)
- ▽コンビナート企業と中小企業等とのネットワーク形成促進に向けたオンライン展示会、「瀬戸内技術交流会」の特設ウェブサイトを公開（10/2）

## ●産学公連携による研究開発・事業化の促進

- ▽「山口大学グリーン社会推進研究会」への参加
  - ・シーズ・ニーズ交流会2023の開催(10/16)
  - ・第3回シンポジウムの開催(11/21)

## ●半導体・蓄電池産業への県内企業の参入促進

- ▽「やまぐち半導体・蓄電池産業ネットワーク協議会」の設立(8/8)
  - ・設立記念セミナーの開催(11/15)
- ▽「半導体・蓄電池関連技術セミナー」の開催(9/7)
- ▽「半導体関連技術ニーズ・シーズマッチング会」を実施(1/25)

## ● 県産省・創・蓄エネ関連設備の普及啓発

▽「中小企業者等向け省・創・蓄エネ設備設置補助金」の採択  
【18件 うち県産登録設備の設置が8件】

### 【県産登録設備】

- ・太陽光発電システム…長州産業の25製品
- ・蓄電池 …長州産業、NFブロッサムテクノロジーズ、長府工産の53製品
- ・地中熱利用システム…ジオパワーシステムの2製品

## ⑧ 水素利活用の推進

## ● 水素社会を見据えた新たな技術開発の促進による産業振興

▽「『水素先進県』実現加速化事業（部材開発推進）補助金」の採択【5件】

### 【採択案件の概要】

- ・水冷方式水素発生用電源の開発
- ・水素供給システム用配管の開発
- ・水素ボイラ市販化に向けた水素ボイラ制御基板開発
- ・水素製造部品向け高性能溶接技術の開発
- ・無漏洩高純度水素圧縮機の開発



無漏洩高純度水素圧縮機

▽「水素関連技術セミナー」の開催(11/8)

## ●水素利活用に向けた基盤づくり

- ▽「燃料電池自動車等の導入促進補助金」の採択【1件・周南市】  
※市町が実施する燃料自動車等の購入費助成の嵩上げ支援

## ⑨ 次世代を担う資源循環型産業の強化

### ●資源循環型産業の育成支援

- ▽「資源循環型社会形成推進事業補助金」の採択【3件】  
(廃棄物3R等推進事業…2件、地域循環圏活性化事業…1件)

#### 【採択案件の概要】

- 廃棄物3R等推進事業
  - ・電子系産業廃棄物の中間処理施設の整備
  - ・発泡スチロール・マテリアルリサイクル施設の整備
- 地域循環圏活性化事業
  - ・食品残渣とエコフィード※の新たな活用方策の検討

※食品残渣等を利用して製造された飼料

## ●リサイクル製品等の認定拡大

▽「山口県認定リサイクル製品」の認定【6件】

### 【認定案件の概要】

- ・木くず ⇒ 木質チップ
- ・鉄鋼スラグ、産廃溶融スラグ ⇒ スラグ再生資材
- ・廃タイヤ ⇒ 2インチタイヤチップ
- ・発泡スチロール ⇒ 発泡スチロール溶融インゴット
- ・アスファルト再生骨材 ⇒ アスファルト合材
- ・コンクリートがら ⇒ 再生コンクリート砂

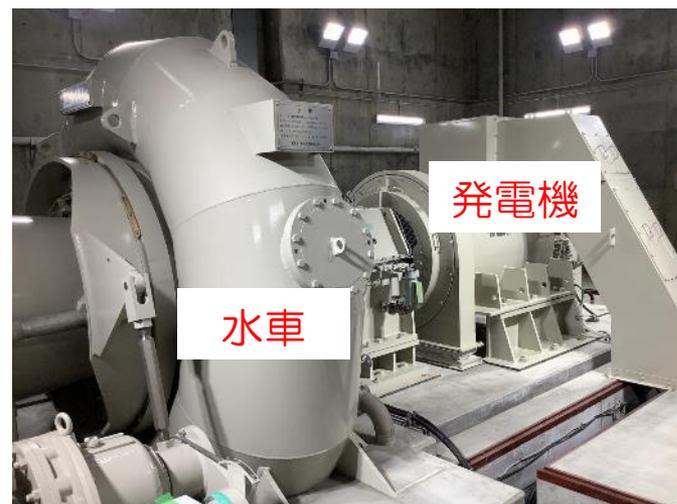
## ⑩ 県企業局の水力発電の供給力向上

### ●平瀬発電所の着実な建設と運転開始

▽水車・発電機等の据付を完了



発電所



水車

発電機

### ■ イノベーションの創出等

- ・「やまぐち産業イノベーション加速化補助金（環境・エネルギー）」の新規採択【3件】
- ・「中小企業脱炭素化促進支援補助金（売込支援型）」の採択【6件】
- ・脱炭素関連の展示会への共同出展【2件8社】

### 《半導体・蓄電池》

- ・「やまぐち産業イノベーション加速化補助金（半導体・蓄電池関連）」の採択【3件】
- ・「半導体・蓄電池産業集積強化事業（部材開発等推進）補助金」の採択【3件】
- ・台湾工学技術研究院の知事表敬訪問(5/27)

### ■ 水素利活用の推進

- ・「『水素先進県』実現加速化事業（部材開発等推進）補助金」の採択【5件】
- ・産業技術センター、エヌエフホールディングス等が行う低コスト水素サプライチェーン創出に向けたF S事業が、環境省の委託事業に採択(6/14)

### ■ 資源循環型産業の強化

- ・「資源循環型社会形成推進事業補助金（地域循環圏活性化事業）」の採択【1件】

### 9月以降の取組

- 水素関連機器の販路拡大に向け、独（ハンブルグ）での国際水素展示会を視察
- 平瀬発電所の運転開始

# 主な実績

## 4 脱炭素社会においても「選ばれる企業」への成長促進・関連産業の集積

### ⑪ 県内企業・工場等における脱炭素化に向けた取組への支援

#### ● 県内企業・工場等の脱炭素化に対する支援

▽「中小企業者等向け省・創・蓄エネ設備設置補助金」の採択【18件】

(太陽光発電設備：9件(うち+蓄電池：2件)、太陽熱利用設備：1件、地中熱利用設備：3件、高効率空調機器：5件)

▽「中小企業脱炭素化促進支援補助金(炭素生産性向上型)」の採択【6件】

#### 【採択案件の概要】

- ・高効率なエアコンプレッサー・空調システム等の導入
- ・高性能保冷ボックスの効率的な生産体制の整備
- ・クリーニング溶剤の使用量を大幅に削減し、再利用を可能とする高効率な設備の導入
- ・高効率な製品製造を可能とするロボット及び組立に必要なロボット等の機器導入
- ・製造現場の分散型温度管理を可能とする高効率空調システムの導入
- ・工場や屋根への遮熱効果のある自家消費型太陽光発電設備の導入

※コーディネータの伴走支援のもと、生産性向上を伴いつつ、CO2排出量削減等に資する設備等の導入を支援

▽中小企業のCO2排出量算定や脱炭素計画策定等の支援【10件】

●**脱炭素経営に取り組む中小企業への金融支援**

▽「次世代自動車整備資金融資」の実施【1件】

▽「脱炭素経営未来投資応援資金」の融資【2件】

▽金融機関や信用保証協会、中小企業支援団体から構成する「中小企業支援ネットワーク」会議を開催し、脱炭素経営の進め方に関する情報交換を実施(8/23、3/18)

●**「やまぐち維新でんき」による再生可能エネルギーの利用拡大**

▽認定中の企業：14企業（29事業所）

※「やまぐち維新でんき」は、終了(~3/31)

※「やまぐちぶちエコでんき」を創設して、新たにミツウロコグリーンエネルギーと連携し、加入企業等の募集を開始(2/1~)

⑫ 中小企業に対する普及啓発の促進、経営相談、研究開発等の支援機能の強化

●**山口県地球温暖化防止活動推進センターとの連携**

▽中小企業向け脱炭素セミナーをハイブリッド開催（山口市内）

※2回計 27社、34名が参加

▽専門家による省エネ診断

※12月上旬には募集枠50件に到達

▽「やまぐち再エネ電力利用事業所」の新規認定【1事業所】

※認定数累計：12社、26事業所

## ●経済団体等と連携した普及啓発、やまぐち産業振興財団・商工会議所等支援機能の強化

▽中小企業（業種別）や支援機関を対象に脱炭素経営セミナーを開催

・支援機関向け…商工会、商工会議所、金融機関等 ⇒34名が参加

・業種別 …食品製造、建設、印刷、機械部品、自動車の5業種 ⇒86名が参加

## ⑬ 脱炭素関連産業の新規立地・拡大投資の促進

●蓄電池や半導体等、グリーン関連分野の成長企業をターゲットにした強力な誘致活動の展開

●脱炭素化に向けた取組を行う企業の設備投資への支援

▽東京・大阪企業誘致センターと一体となった積極的な企業訪問を実施【約1,900件】

⇒令和5年は28件の誘致を実現（目標は25件）

### 【主な案件】

- ・日軽パネルシステム
- ・ヒロタニ
- ・日立ハイテク



日立ハイテク・半導体製造装置の新製造棟建設

### ■ 工場等の脱炭素化支援

- ・「中小企業者等向け省・創・蓄エネ設備設置補助金」の採択【37件】
- ・「中小企業脱炭素化促進支援補助金（炭素生産性向上型）」の採択【5件】
- ・「やまぐちぶちエコでんき」による再生可能エネルギーの利用拡大【新規加入 8 企業】

### ■ 中小企業への普及啓発・相談支援等

- ・専門家による省エネ診断の実施【6月上旬には募集枠50件に到達】
- ・やまぐち再エネ電力利用事業所認定制度の募集【新規認定 4 事業所】

### ■ 新規立地・拡大投資の促進

- ・企業訪問の実施【R6年度：約700件(8月末時点)】
- ・誘致実績【R6年：14件(8月末時点)】

### 9月以降の取組

- 中小企業向け脱炭素経営セミナー等を開催
- 中小企業に対する脱炭素計画策定等の支援を実施【実施枠：12企業】
- 知事のトップセールスなど積極的な企業誘致活動を展開

# 主な実績

5

## 脱炭素化に貢献する農林水産業の推進

### ⑭ 農業の自然循環機能の増進

#### ● 持続可能な農業の推進

- ▽ 農林業知と技の拠点を核とした研究開発体制「産学公連携プラットフォーム」のキックオフ会議を開催し(4/18)、課題ごとの研究を開始
- ▽ グリーン農産物の生産拡大に向け、販売促進体制の整備や普及啓発を実施
  - ・ グリーンサポーター養成研修の開催(6/9、8/29)
  - ・ 「地産・地消 秋の収穫祭」での該当農産物のPR(10/7～11/26)
- ▽ 県産飼料の生産・利用拡大及び広域流通体制の構築等
  - ・ 機器・設備の整備や作付面積拡大を支援(20協議会等)
  - ・ 県内2カ所に展示ほ場を設置し、現地研修会を開催(9月)
- ▽ 長門市、下関市における有機野菜の本格栽培に向けた連絡会議の開催(6月、12月、2月)
- ▽ 環境保全型農業直接支払交付金に関し、市町担当者を対象とした説明会の開催(5月)



飼料用米現地研修会

## ●良質堆肥の製造・利用

▽山口県環境調和型スマート畜産推進協議会の開催(5/26)

▽良質堆肥の製造・利用等に係る研修会の開催(12月)

## ⑮ 森林資源の循環利用の推進

### ●エリートツリー等の活用

▽「エリートツリーコンテナ苗」の安定供給体制の整備のため、「充実種子選別装置」を導入(8月)し、選別を実施(11月～3月)

▽コンテナ苗の短期路地栽培技術の確立に向け、2生産者で実証を開始(11月)

### ●県産木材の利用促進

▽「新たな木材需要創出モデル事業補助金」の採択(9件)

※民間建築物の木材利用を促進する取組が対象

▽「やまぐち木の家づくり推進事業補助金」の採択(34件)

※一定割合以上の優良県産木材を利用した住宅が対象

▽「やまぐち非住宅建築物木造化推進事業補助金」の採択(3件)

※県独自の協定制度を締結した施工業者等が建築する事業用建築物が対象



## ● バイオマスの活用推進

▽「木材利用加速化事業（木質バイオマス利用促進施設整備分）補助金の採択（4件）

### 【採択案件の概要】

- ・木質資源利用ボイラー 一式
- ・移動式チップパー 1台
- ・木質資源利用ボイラー 一式
- ・固定式チップパー 2台、木質チップ選別機 1台等



移動式チップパー

▽森林Jクレジット制度の活用推進に向けた普及啓発や意向確認等を実施

- ・県内企業等へのニーズ調査  
[回収率等] 31.6%(回答数737/調査対象数2,329)
- ・県内の林業事業者への取組意向等のヒアリング  
[調査対象] 森林組合及び林業関連の民間企業9者
- ・先進地の状況調査  
[調査対象] 先進地森林組合等4者
- ・クレジット購入や森林保全活動に関心の高い企業へのヒアリング  
[調査対象] 県内企業3者
- ・モデル森林の選定(3箇所)及びシミュレーションの実施

## ⑰ 水産資源の増殖とCO<sub>2</sub>の吸収固定を担う藻場・干潟の保全・機能回復の促進

### ● 藻場・干潟の保全や機能回復の促進

▽国の水産多面的機能発揮対策事業を活用し、漁業グループ（24組織）が藻場・干潟の保全活動を実施

#### 【漁業者グループ一覧】

市町	組織名
阿武町	阿武藻場保全グループ
萩市	萩藻場保全グループ、江崎・須佐藻場保全グループ、越ヶ浜藻場保全グループ
長門市	通藻場保全グループ、長門東藻場保全グループ、黄波戸藻場保全グループ、立石藻場保全グループ
下関市	王司干潟改良グループ、下関ひびき藻場保全グループ、六連島藻場保全グループ、室津地区藻場保全活動組織、北浦地区藻場保全グループ小串部会、川棚藻場保全グループ
宇部市	床波海域保全グループ、宇部岬地区浅場保全グループ
山口市	榎野川河口干潟を守る会
周南市	周南地域干潟保全活動グループ（周南地区）
下松市	周南地域干潟保全活動グループ（下松地区）

市町	組織名
周防大島町	瀬戸内海再生プロジェクトイン白木半島、瀬戸内海再生プロジェクトイン安下庄
岩国市	神代アサリグループ、通津アサリグループ

## ●漁港施設を活用した藻場増殖等の取組

- ▽「やまぐち型養殖業推進協議会」を設立し、総合的な推進体制を構築(7月)
- ▽県内4地域で養殖試験(ウニ)を実施し、海域別養殖条件の検証に向けたデータを収集  
【養殖支援実施場所】

漁港名 (市町)	萩大島漁港(萩市)、大浦漁港(長門市油谷)、蓋井島漁港(下関市)、森野漁港(周防大島町)
-------------	--

- ▽水産研究センターで、ウニへ野菜残渣などを給餌することによる効果の検証試験を実施
- ▽県内漁業者等に対し、ウニ養殖に係る研修会を開催(2月)
- ▽第2回「やまぐち型養殖業推進協議会」を開催(3月)

### ■ 農業の自然循環機能の増進

- ・水稲有機栽培用マニュアル改定に向けた現地試験等の実施(6月開始)
- ・飼料生産拡大・流通に必要な機器や設備導入に関する補助金の採択【31件】

### ■ 森林資源の循環利用の推進

- ・県内4カ所でエリートツリーコンテナ苗の短期露地栽培技術の実践・実証を実施中
- ・木材需要創出に向けた各種補助金の採択【計35件】

### ■ バイオマスの活用推進

- ・木材利用加速化事業（木質バイオマス利用促進施設整備分）補助金交付【3件】
- ・森林Jクレジット創出支援補助金の採択【2件】

### ■ 藻場・干潟の保全・機能回復の促進

- ・ウニの海域別養殖条件を検証するための養殖試験を実施中
- ・「海のゆりかごブルーカーボンプロジェクトinせんざき」が認証・発行されていたクレジット(12.6t-CO<sub>2</sub>)について、8者が購入(5/17公表)

### 9月以降の取組

- これまでの成果を踏まえながら各取組を推進
- やまぐち農林振興公社が実施する森林経営活動に基づくCO<sub>2</sub>吸収量のJクレジット認証

### ● 県民理解の醸成

- ▽「ふれあい山口（8月号）」への特集記事の掲載と動画作成
- ▽県政放送「元気創出！やまぐち」において、特集を放送（10/8,15）
- ▽やまぐち県政出前トークや各種会合での講演【4回】

### ● 人材育成

- ▽「企業から学ぶ！専門高校カーボンニュートラルプロジェクト」において、県内の高校と企業とが連携して、カーボンニュートラルに関する教育活動を展開

#### 【実施校（7校）と主な連携先】

山口農業高校（中四国クボタ）、徳山商工高校（トクヤマ）、宇部工業高校（長州産業）、大津緑洋高校（63Dnet）、柳井商工高校（丸久）、厚狭高校（花の海、田中醤油醸造場）、田部高校（秋川牧園、道の駅きくがわ）

### ● 国への働きかけ

- ▽春の政府要望を実施（6/8）
  - ・産業分野のCN関連で「超重点」6項目を要望
- ▽秋の政府要望を実施（11/9）
  - ・産業分野のCN関連で「超重点」5項目を要望

### ■ 人材育成

- ・高等産業技術学校の自動車整備科において、電気自動車の整備に関する職業訓練を実施中
- ・「企業から学ぶ！ 専門高校カーボンニュートラルプロジェクト」の実施校等を決定

#### 【実施校（9校）と主な連携先】

下松工業高校（東洋鋼鈑）、徳山商工高校（出光興産）、小野田工業高校（長州産業）、萩商工高校（古田工務店）、下関工科高校（安成工務店）、大津緑洋高校（永山酒造）、岩国商業高校（リテールパートナーズ）、厚狭高校（花の海、田中醤油醸造場）、田部高校（静食品、秋川牧園）

### ■ 国への働きかけ

- ・春の政府要望を実施（6/13）
- ・産業分野のC N関連で「超重点」5項目を要望

# K P I

区分	名称	基準値	直近実績 (矢印は前年度比)	目標値
コンビナート	コンビナートを構成する製造業のエネルギー起源CO <sub>2</sub> の削減	1,998万t-CO <sub>2</sub> (2018年度)	1,806万t-CO <sub>2</sub> ↓ (▲9.7%) (2020年度)	▲32.0% (2030年度)
	次世代燃料・素材の供給に向けた連携プロジェクトの着手件数 (公表ベース)	0件 (2021年度)	2件 ↑ (2023年度)	3件 (2030年度)
	港湾脱炭素化推進計画の策定	0港 (2021年度)	1港 ↑ (2023年度)	5港 (2030年度)
自動車	電動化に対応した新技術・新製品の研究開発等プロジェクト化件数 (累計)	0件 (2021年度)	1件 ↑ (2023年度)	8件 (2030年度)
	自動車関連企業の省・創・蓄エネ関連設備導入件数 (累計)	—	36件 ↑ (2023年度)	80件 (2030年度)
環境・エネルギー	再エネの発電出力	178万kW (2021年度)	241万kw (2023年度)速報値	300万kW (2030年度)
	環境・エネルギー関連産業における事業化件数 (累計)	76件 (2021年度)	91件 ↑ (2023年度)	120件 (2030年度)
	事業者への省・創・蓄エネ関連設備導入等の支援件数 (累計)	65件 (2021年度)	87件 ↑ (2023年度)	230件 (2030年度)
	燃料電池自動車等の導入台数 (累計)	35台 (2021年度)	43台 ↑ (2023年度)	700台 (2030年度)
	山口県認定リサイクル製品数 (累計)	506製品 (2021年度)	515製品 ↑ (2023年度)	614製品 (2030年度)

区分	名称	基準値	直近実績 (矢印は前年度比)	目標値
	水力発電の供給力（最大出力）	51,652kW (2021年度)	51,652kW → (2023年度)	53,000kW (2030年度)
「選ばれた企業」 ／産業集積	事業者への省・創・蓄エネ関連設備 導入等の支援件数（累計）【再掲】	65件 (2021年度)	87件 ↑ (2023年度)	230件 (2030年度)
	事業者の省エネ診断の受診件数 (累計)	123件 (2021年度)	277件 ↑ (2023年度)	590件 (2030年度)
	中小企業経営革新計画件数 (脱炭素化)	0件 (2021年度)	5件 ↑ (2023年度)	180件 (2030年度)
	脱炭素に取り組む企業の誘致件数 (累計)	25件 (2021年)	28件 ↓ (2023年)	200件 (2023～2030年)
農林水産業	有機農業面積	119ha (2020年度)	141ha ↑ (2022年度)	200ha (2030年度)
	県産木材供給量	30.1万m <sup>3</sup> (2021年度)	30.6万m <sup>3</sup> ↓ (2023年度)	47.5万m <sup>3</sup> (2030年度)
	再造林率	28.5% (2016～2020 年度平均)	46.0% ↑ (2023年度)	60.0% (2030年度)
	森林バイオマス利用量	64.2千t (2021年度)	66.9千t ↓ (2023年度)	94.0千t (2030年度)
	漁港施設を有効活用した藻場造成 箇所	—	2箇所 ↑ (2023年度)	7箇所 (2030年度)

# 参考指標

〔環境面の参考指標 単位：万t-CO<sub>2</sub>〕

項目		2013年度 (基準値)	2030年度 (目標値)	2013年度 比増減	2018年度	2020年度 (速報値)
CO <sub>2</sub> 排出量	産業	2,076	1,523	▲26.7%	2,221	2,114
	工プロ	705	619	▲12.3%	705	653
	エネ転	365	192	▲47.4%	307	253
	業務他	248	118	▲52.5%	204	189

2013年度比

+ 1.8% ※産業部門も  
▲ 7.4% 2017年度を  
▲30.7% ピークに減少傾向  
▲23.8%

〔経済面の参考指標〕 ※下線部は遡及改定後の数値

項目		戦略策定時の基準		2024年度評価時点
全産業	県内総生産（名目）	<u>6兆2,215億円</u> (2019年度)		6兆2,366億円 (2021年度)
	1次産業	<u>291億円</u> (2019年度)		274億円 (2021年度)
	2次産業	<u>2兆4,883億円</u> (2019年度)		2兆6,915億円 (2021年度)
	3次産業	<u>3兆6,839億円</u> (2019年度)		3兆5,043億円 (2021年度)
製造業 関連	付加価値額		1兆7,281億円 (2020年)	2兆1,408億円 (2022年)
	労働生産性		2,139万円 (2020年)	2,586万円 (2022年)
	鉱工業指数 (2020年=100)	生産	100.0 (2020年)	108.1 (2023年)
		出荷	100.0 (2020年)	105.2 (2023年)
		在庫	100.0 (2020年)	101.0 (2023年)



※4年ぶりの増加



※コロナ禍から回復傾向

○ 従来、連動性が高いものとされていた「経済成長」と「環境負荷」との分離を目指す。

